

広島県立中学校の定員の変更について

1 要旨

学校の望ましい教育環境や指導体制を構築するため、国において、令和8年度から公立中学校の学級編制の標準が40人から35人へと学年進行で引き下げられる見込みであることから、県内児童数の推移なども踏まえ、一部の県立中学校の定員を変更したことについて報告する。

2 定員の変更について

(1) 変更後の定員

変更後	校名	定員			
		第1学年	第2学年	第3学年	計
	広島県立広島中学校	140人	140人	140人	420人
	広島県立広島叡智学園中学校	40人	40人	40人	120人
	広島県立三次中学校	70人	70人	70人	210人
変更前	校名	定員			
		第1学年	第2学年	第3学年	計
	広島県立広島中学校	160人	160人	160人	480人
	広島県立広島叡智学園中学校	40人	40人	40人	120人
	広島県立三次中学校	80人	80人	80人	240人

※ ただし、国の動向と合わせるため、学年進行により変更後の定員へ移行する。

(2) 理由

各県立中学校における定員の設定理由については、次のとおり。

校名	1学年の定員		理由
	変更後 (R8年度から)	変更前	
広島県立 広島中学校	140人 (35人×4学級)	160人 (40人×4学級)	○国によって学級編制の標準が引き下げられるため。 ○それぞれの学校における主な入学地域の児童数が、開校時と比較し、減少しているため。
広島県立 三次中学校	70人 (35人×2学級)	80人 (40人×2学級)	
広島県立 広島叡智学園 中学校	40人 (20人×2学級) ※変更なし	40人 (20人×2学級)	○既に1学級の生徒数が35人以下であるため。